

4K・8Kに関する周知・広報戦略について

平成28年12月20日
事務局

- 1 BS及び110度CSによる4K・8K放送に関する周知・広報の必要性
- 2 今後の周知・広報の基本的考え方
- 3 周知・広報の取組案①～⑥
- 4 今後の主な取組スケジュール(イメージ)



(参考)

- BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務等の認定申請の受付結果
- 衛星4K・8K新放送(仮)を4Kテレビ等で視聴する方法(イメージ)
- 最新の周知・広報用リーフレット

「放送を巡る諸課題に関する検討会 第一次取りまとめ」より

- ・ 現在市販されている4K(対応)テレビには、今後開始されるBSによる4K・8K試験放送やBS等4K・8K実用放送に対応する受信機能が搭載されていないため、当該放送を視聴するには別に受信のための機器(BS等4K・8K放送対応チューナー)が必要
- ・ BS等4K・8K実用放送を視聴するためには、4K・8K受信機のほか、現在設置しているアンテナ等の受信設備を交換するか、BS等4K・8K実用放送を再放送するケーブルテレビやIPTV等に参加する必要がある
- ・ このような状況について、視聴者には必ずしも理解が進んでいるとはいえない
- ・ 4K・8K受信機に関する情報等について、国民・視聴者にわかりやすい形での周知・広報が重要
- ・ 速やかに、国と関係事業者、団体等が連携して、周知・広報等の具体的な内容・方法等について検討を進めることが必要

周知内容について

- ・「BSや110度CSによる4K・8K放送」の呼称、ロゴ・マークの活用等により、4K・8K放送に関する基礎的事項を分かり易く伝える  **現在、呼称について関係者にて検討中**
(例:既存放送の置き換えではなく新たなチャンネル追加であること、現在、販売中の4K(対応)テレビに対応チューナーは内蔵されておらず、既に購入した4K(対応)テレビで視聴するためには、別途、対応チューナーが必要なこと、その他、アンテナ交換や配線工事の必要可能性もあること等)
- ・消費者が視聴できる放送を容易にイメージできるよう、事業者名等を具体的に示す
 **放送サービスの提供希望者から認定申請を受付(平成28年9月15日～10月17日)
平成29年初頭に事業者認定予定**
- ・集合住宅における工事の必要可否、工事費の事例等、マンション管理組合等が工事の実施判断に必要な情報を分かり易く伝える

周知方法について

- ・家電販売店の店頭に加え、業界毎に特徴や強みを生かした周知・広報の実施
- ・関係業界等が連携して周知・広報を実施
- ・ワールドカップやオリンピック等、イベント開催に合わせた集中的な周知の実施
- ・消費者からの相談への対応体制を構築し、消費者の疑問や誤解等の解消を図る

【基本的考え方】

「BSや110度CSによる4K・8K放送」の呼称、ロゴ・マークの活用等により、4K・8K放送に関する基礎的事項をわかりやすく伝える

① 「衛星4K・8K新放送(仮)」の呼称やロゴ・マークを、関係業界で積極的に活用

〔「BS、110度CSによる4K・8K放送」の呼称について、
本資料では仮名称として「衛星4K・8K新放送(仮)」と記す。〕

- ・ 消費者に接する様々な業界が様々な場面で、呼称、ロゴ・マークを用いて基礎的事項^(※)の分かり易い周知・広報に努める

(※) 現在、販売中の4K(対応)テレビに対応チューナーは内蔵されておらず、既に購入した4K(対応)テレビで視聴するためには、別途、対応チューナーが必要なこと 等

② キャラクター等による周知キャンペーンの展開









- ・ 「地デジカ」のように、多くの国民が親しみをもてるキャラクター等を検討
- ・ 各地のイベント等において「衛星4K・8K新放送(仮)」の周知・広報を実施

③ 放送業界による、番組等を活用した放送波での周知・広報の実施

- ・ 現在のBSや110度CSの視聴者に限らず、将来の視聴可能性を見据えて幅広く伝える

④ 業界イベントへの参加

- ・ 「衛星4K・8K新放送(仮)」ブースの設置などにより、来場者に分かり易く伝える

	BS	110度CS	124／128度CS	ケーブル
2K等	BSデジタル 	110度CSデジタル  or スカパー！ 	124／128度CSデジタル or スカパー！ プレミアム サービス 	各社毎
4K	<p style="color: red; text-align: center;">「衛星4K・8K新放送(仮)」</p> <p style="color: red;">現在、 (一社)放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)にて検討中</p>		チャンネル名は、 スカパー！4K 映画 スカパー！4K 総合 スカパー！4K 体験   	ケーブル 4K 
8K	—		—	—

【基本的考え方】

消費者が視聴できる放送を容易にイメージできるよう、事業者名等を具体的に示す

① 衛星4K・8K新放送(仮)の提供事業者の決定

- ・ 放送サービスの提供希望者から認定申請を受付（平成28年9月15日～10月17日）
- ・ 平成29年初頭に事業者決定の予定

➡ (参考)BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務等の認定申請の受付結果
<p14参照>

② (事業者の決定後)周知・広報活動において事業者名も紹介

- ・ 消費者が視聴できる放送を容易にイメージできるよう、周知・広報リーフレット、家電販売店の店頭、製品カタログ、説明会において、以下の情報などを明示
(右旋、左旋のそれぞれの放送事業者名、4K放送であるか8K放送であるか、既存放送の置き換えではなく、新たに始まる放送であること 等)

③ 放送の種類(右旋／左旋、4K／8K)に応じた、視聴方法の説明

- ・ 視聴するためにアンテナ交換等が必要になる放送／交換等を行わずに視聴できる可能性がある放送について、周知・広報時に分かり易く紹介する

➡ (参考)衛星4K・8K新放送(仮)を4Kテレビ等で視聴する方法(イメージ)
<p15参照>

【基本的考え方】

集合住宅における工事の必要可否、工事費の事例等、マンション管理組合等が工事の実施判断に必要な情報を分かり易く伝える

① 集合住宅における工事可否の判定方法、標準的な工事方法等の検討

- ・ 集合住宅において衛星4K・8K新放送(仮)を視聴するために必要な工事について、現在、検討中の衛星放送用受信設備の技術基準を踏まえ、今後、工事業界において標準的な工事方法等を検討する

② 集合住宅における工事費の事例調査

- ・ ①の結果を踏まえ、集合住宅の状況に応じた工事費の事例について調査・分析する

③ マンション管理組合等が工事実施を判断するために必要な情報の提供

- ・ 集合住宅での衛星4K・8K新放送(仮)視聴に関するリーフレットやホームページ等の作成
- ・ 家電販売店やマンション管理組合等と関係の深いマンション管理業界等への情報提供、業界紙やイベント(電気工事、建設、不動産関連等)の活用による周知・広報

【基本的考え方】

家電販売店の店頭に加え、業界毎に特徴や強みを生かした周知・広報の実施

- 放送、製造、販売等の関係する業界毎にそれぞれの特徴や強みを生かした周知・広報を積極的に実施する

【基本的考え方】

関係業界等が連携して周知・広報を実施

① 4K・8K放送の普及促進に向けた業界等連携体制の構築

- ・ 衛星4K・8K新放送(仮)の実用放送開始に向けて、国民の認識・理解度の向上、普及促進を図るため、関係業界等による連携体制づくりについて検討

② 周知・広報素材の他業界への提供による、効率的な周知・広報活動の実施

- ・ 放送、製造業界等が作成した周知・広報リーフレットを家電販売業界等へ提供
 - ➡ (参考)最新の周知・広報用リーフレット((一社)放送サービス高度化推進協会にて作成中)
<p16参照>
- ・ 工事業界等が作成した周知・広報リーフレットを、マンション管理販売や不動産業界へ提供
- ・ 国、放送、製造業界等が作成した消費者対応Q&Aを、衛星4K・8K新放送(仮)視聴相談センター(仮称)、家電販売業界、消費生活センター等へ提供

③ 業界連携による各種イベントへの対応

- ・ マンション管理販売や不動産業界が主催する衛星新放送(仮)に関するセミナー等に、国、放送、製造業界等が積極的に参加
- ・ 各種イベントにおいて、各業界が連携して「衛星4K・8K新放送(仮)」ブースを設置・運営し、来場者への効果的な周知・広報を実施

【基本的考え方】

ワールドカップやオリンピック等、イベント開催に合わせた集中的な周知の実施

- ボーナス商戦期(毎年7月、12月前後)に加え、以下の国際・国内イベントを契機に、関係者による周知・広報を集中的に実施

<平成29年>

実用放送開始1年前 (平成29年12月(予定))

<平成30年>

平昌冬季オリンピック・パラリンピック (平成30年2月9日～25日、3月9日～18日)

露サッカーワールドカップ (平成30年6月14日～7月15日)

実用放送開始 (平成30年12月(予定))

<平成31年>

日ラグビーワールドカップ (平成31年9月20日～11月2日)

<平成32年>

東京オリンピック・パラリンピック (平成32年7月24日～8月9日、8月25日～9月6日)

※上記日程は、各イベントの関連WEB等を元に作成したものであり、今後変更となる場合があります。

【基本的考え方】

消費者からの相談への対応体制を構築し、消費者の疑問や誤解等の解消を図る

① 「衛星4K・8K新放送(仮)視聴相談センター(仮称)」の設置準備

- ・ 開設に向け、以下の事項等について検討を開始する

運営体制

相談センターにおける対応範囲(どのような内容まで対応可能か)

関係者間の連絡体制(相談内容に応じて、適切な業界窓口を紹介できるように)

開設時期

② 具体的な相談対応方法の検討

- ・ Q&Aの作成

③ 相談センター(そのもの)の周知方法の検討

- ・ 問い合わせ先(電話番号)を掲載した周知・広報チラシ等の配布推進

4 今後の主な取組スケジュール(イメージ)

2016年(平成28年) 2017年(平成29年) 2018年(平成30年) 2019年(平成31年) 2020年(平成32年)

(12/1) ●
試験放送開始(A-PAB)

●(初頭)
放送事業者決定

(12予定) ●
放送1年前

★(2/9~3/18) 平昌冬季
オリンピック・パラリンピック

★(6/14~7/15) 露サッカーWC
露サッカーWC

●(12(仮))
実用放送開始

★(9/20~11/2)
日本ラグビーWC

★(7/24~9/6)
東京オリンピック・
パラリンピック

国

技術基準検討(衛星放送用受信設備)

※上記日程は、今後変更される場合があります。

相談窓口

開設に向け
連携

イベント
で周知

イベント
で周知

イベント
で周知

イベント
で周知

放送事業者

開設準備

開設・運用開始

連絡先を掲載

リーフレット
作成

リーフレット
作成

集中PR
(1年前)

集中PR
(冬季五輪)

集中PR
(サッカー)

集中PR
(放送開始)

集中PR
(ラグビー)

集中PR
(東京五輪)

メーカー

呼称
決定

対応受信機
発売見込み

リーフレット
作成

周知・広報活動で活用

周知・広報活動で活用

家電販売店

店頭等での周知、説明強化

工事業者

標準工法の検討

リーフレット等作成

モデルケース検討、工事費事例調査

マンション管理
不動産業界

【改修対応】

マンション管理組合等への周知活動で活用

【新築対応】

対応機器の使用等、
一部の先行工事の促進

管理組合等に必要情報を提供

(必要に応じて完了工事を実施)

(参考)

- BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務等の認定申請の受付結果
- 衛星4K・8K新放送(仮)を4Kテレビ等で視聴する方法 (イメージ)
- 最新の周知・広報用リーフレット

(総務省報道発表、平成28年10月19日)

BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務の認定申請については10者から、東経110度CSによる4K試験放送の業務の認定申請については1者から申請がありました。

この他、日本放送協会から基幹放送普及計画に沿って、BS(右旋)による4K実用放送の業務(1番組)及びBS(左旋)による8K実用放送の業務(1番組)の認定申請がありました。

(別紙2)

申請者の一覧

- (1) 超高精細度テレビジョン放送に係る衛星基幹放送業務の認定申請
 (a) BS放送用周波数(右旋円偏波の電波の周波数に限る。)のうち新たに生じる空き周波数(注)

No	申請者	主要株主 (議決権の比率)	番組名 (スロット数等)	周波数の 希望順位
1	(株)ビーエス朝日	(株)テレビ朝日ホールディングス(100%)	BS朝日 (40スロット、4K)	当該周波数のみ希望
2	(株)BSジャパン	(株)テレビ東京ホールディングス(100%)	BSジャパン (40スロット、4K)	当該周波数のみ希望
3	(株)BS-TBS	(株)東京放送ホールディングス(100%)	BS-TBS 4K (40スロット、4K)	当該周波数のみ希望
4	(株)BS日本	日本テレビホールディングス(株)(100%)	BS日テレ (40スロット、4K)	当該周波数のみ希望
5	(株)ビーエスフジ	(株)フジメディア・ホールディングス(100%)	BSフジ (40スロット、4K)	当該周波数のみ希望
6	(株)WOWOW	(株)フジメディア・ホールディングス(17.15%)、 (株)東京放送ホールディングス(15.54%)	WOWOW (40スロット、4K)	第1希望

注 以下に係る新たに生じる空き周波数
 ア 基幹放送普及計画(昭和63年郵政省告示第660号)第1の1(4)エに規定する試験放送に係る衛星基幹放送の業務の用に供している周波数
 イ BS放送の既存の放送番組に係る当該放送の業務を廃止する旨(本件申請の認定の日から起算して1年6月を経過する日までに廃止するものに限る。)を届け出ているものに係る周波数その他当該認定の時点において、当該認定の日から起算して1年6月を経過する日の翌日以降、衛星基幹放送の業務の用に供していない周波数となることが確実な周波数

- (b) BS放送用周波数のうち第8チャンネル、第12チャンネル又は第14チャンネル

No	申請者	主要株主 (議決権の比率)	番組名 (スロット数等)	周波数の 希望順位
1	SC サテライト放送(株)	ジュピターショップチャンネル(株)(100%)	ショップチャンネル (40スロット、4K)	第1希望
2	(株)QVCサテライト	(株)QVCジャパン(100%)	テレビショッピングチャンネル(仮) (40スロット、4K)	当該周波数のみ希望
3	(株)東北新社	個人株主(19.28%)、同(17.61%)、同(10.54%)	映画エンタテインメントチャンネル (40スロット、4K)	当該周波数のみ希望
4	(株)WOWOW【再掲】	(株)フジメディア・ホールディングス(17.15%)、 (株)東京放送ホールディングス(15.54%)	WOWOW (40スロット、4K)	第2希望

- (c) 東経110度CS放送用周波数のうちチャンネル番号ND9、ND11、ND19、ND21又はND23

No	申請者	主要株主 (議決権の比率)	番組名 (スロット数等)	周波数の 希望順位
1	SC サテライト放送(株)【再掲】	ジュピターショップチャンネル(株)(100%)	ショップチャンネル (60スロット、4K)	第2希望
2	(株)スカパー・エンターテインメント	(株)スカパーJSATホールディングス(100%)	スカチャン4K 1(仮) (60スロット、4K)	当該周波数のみ希望
3			スカチャン4K 2(仮) (60スロット、4K)	当該周波数のみ希望
4			スカチャン4K 3(仮) (60スロット、4K)	当該周波数のみ希望
5			スカチャン4K 4(仮) (60スロット、4K)	当該周波数のみ希望
6			スカチャン4K 5(仮) (60スロット、4K)	当該周波数のみ希望
7			スカチャン4K 6(仮) (60スロット、4K)	当該周波数のみ希望
8			スカチャン4K 7(仮) (60スロット、4K)	当該周波数のみ希望
9			スカチャン4K 8(仮) (60スロット、4K)	当該周波数のみ希望

- (2) 超高精細度テレビジョン放送の試験放送に係る衛星基幹放送業務の認定申請(東経110度CS放送用周波数のうちチャンネル番号ND23)

No	申請者	主な会員社	番組名 (スロット数)
1	一般社団法人放送サービス高度化推進協会	放送事業者、通信事業者、受信機メーカー等	A-PAB試験放送 (60スロット、4K)

※1：申請者名の50音順に掲載。
 ※2：主要株主の欄については上位3位まで掲載。ただし、議決権の比率が10%未満のものについては、掲載を省略。

BS・110度CSアンテナ



①

衛星4K・8K新放送(仮)対応チューナー
(実用放送に向けて、発売が見込まれています)

③

配線類
(ケーブル、ブースタ、
分波器、テレビ端子等)

②

HDMI®
ケーブル*

④

今の4Kテレビや
4K対応テレビ*

⑤

視聴する放送サービス	①	②	③	④	⑤
BSの4K放送 (右旋・左旋ともに視聴)	右旋・ 左旋対 応に交 換要	交換・工事要の可能性 (現在、2.6GHz程度まで対応している場合、 交換・工事が不要の可能性あり)	要	4K対応のHDMI® ケーブルに交換要*	4K(対応) TVが必要*
CS110度の4K放送		交換・工事要の可能性 (~3,224MHzまで対応要)			
BSの8K放送		交換・工事要の可能性 (現在、2.6GHz程度まで対応している場合、 交換・工事が不要の可能性あり)	要	今後の規格・製品化 等の動向を要確認	8K(対応) TVが必要
BSの4K放送 (右旋のみ視聴)	交換 不要**	交換・工事は不要**	要	4K対応のHDMI® ケーブルに交換要*	4K(対応) TVが必要*

(※)HIGH SPEED(カテゴリー2)に対応したHDMI®ケーブル(HDMI®端子は、HDCP2.2、4K60Hz入力に対応)

(**)現在、放送されているBSの全てのチャンネルを受信できていない場合、交換等が必要な場合があります。

上記の内容に限らず、現在使用中の機器等の性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。
また、上記のほかに、今後、衛星放送用受信設備の技術基準(検討中)を踏まえ、機器交換や工事が必要な場合があります。

最新の周知・広報用リーフレット ((一社)放送サービス高度化推進協会にて作成中)

4K・8Kサービスガイド

現在ご覧いただける
「4K放送」や「4K配信サービス」

■124/128度CS放送 (スカパー!プレミアムサービス)



■ケーブルテレビ



■インターネット (一例)



インターネットによる配信サービスには、この他にNETFLIX、dTVなどがあります。
スカパー!プレミアムサービスの4K受信や、インターネットによる4K配信サービスへの対応は、メーカーや機種によって異なります。
ケーブル4Kの受信にはセットトップボックス(STB)が必要です。それぞれのサービス詳細には、申し込みまたは別途契約が必要な場合があります。

これから始まる4K・8K放送

2018年からBSと110度CSで
4K・8K本放送が始まります!



試験放送は、ご家庭のテレビで見るとはできません。
「リブリングビューイング」の会場や一部の放送局等で見られます。

どうすれば見られるの? 4K・8K放送

Q. どうすれば今の4Kテレビで2018年に始まるBS・110度CSの4K本放送を楽しめますか?

A. 現在販売されている4Kテレビや4K対応テレビには、BS・110度CSによる4K本放送の受信機能は搭載されていません。このため、これまでの4Kに対応するテレビに加えて、本放送に向けて発売が見込まれているBS・110度CSによる4K本放送に対応した4Kチューナーがあればお楽しみいただけます。BS・110度CSアンテナは右左車旋回型対応のものが必要になる場合があります。



※1: HDMI端子(端子HDCP2.2・4K60Hz)入力に対応している必要があります。
※2: HIGP (HIGH SPEED)に対応したHDMIケーブルもご用意ください。
※3: 110度CS電波およびその地上波放送局の電波状況は必ずご確認ください。
詳しくの情報は、JEITAホームページ(<http://home.jeita.or.jp/>)をご覧ください。

はじまる8K本放送を見るには何が 필요한の?

まず8K本放送に対応したテレビやチューナーをご購入いただければ
なります。なお、BS・110度CSアンテナの交換が必要になる場合があります。

※BS・110度CSのハイビジョン放送は終わってしまうの?

放送が始まって、現在の放送は続きます。

4K・8Kの魅力

現在の放送もきれいに!

4Kはフルハイビジョンに比べて、画素数が4倍、8Kは16倍! 地デジなど現行の放送がよりきれいに見られます。また4K・8Kテレビは、近づいて見ても映像(画像)の粗さが気にならないので、視野が広がり、圧倒的な臨場感をお楽しみいただけます。



HDRに対応した番組も放送されます

HDR(ハイダイナミックレンジ)とは、映像が本来持っている明るさや色、コントラストを表現できる技術です。肉眼で見える感覚により近い映像をお楽しみいただけます。



(案)